



2025年2月18日

各位

会社名 ミガロホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 5535、東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬 晃二
(TEL. 03-6302-3627)

2025年3月期第3四半期決算に関するQ&A

2025年2月5日に公表した2025年3月期第3四半期決算に関しまして、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合わせ、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。

なお本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に、自主的に実施するものであります。決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

Q 1. 2025年1月より、「FreeiD」の海外展開の実現を目指し、「海外戦略準備チーム」を立ち上げたとありましたが、今後の海外展開について現時点での計画・ビジョンがありましたら教えて頂けないでしょうか。

A 1. 顔認証技術を用いた「オール顔認証マンション」を提案・導入できる、脅威となる競合他社がない今、DXYZが国内において最多の導入数を誇るというのが現状であります。一方で、海外に目を向けると、アジア諸国を訪問する中で、海外でも顔認証の導入が徐々に広がり始めているという実感を持ち、「FreeiD」の海外展開を考えはじめました。FreeiDを導入してくれている企業の中にはアジア等のマンションを開発している取引先もあることから、こういったリレーションなども考慮し、「海外戦略チーム」を立ち上げるに至りました。まだ、チームを立上げたばかりで、現時点では海外展開していく上でどのような障壁があるかや展開していく国の選定の調査を開始したところです。今後の展開については、適宜共有していければと考えております。

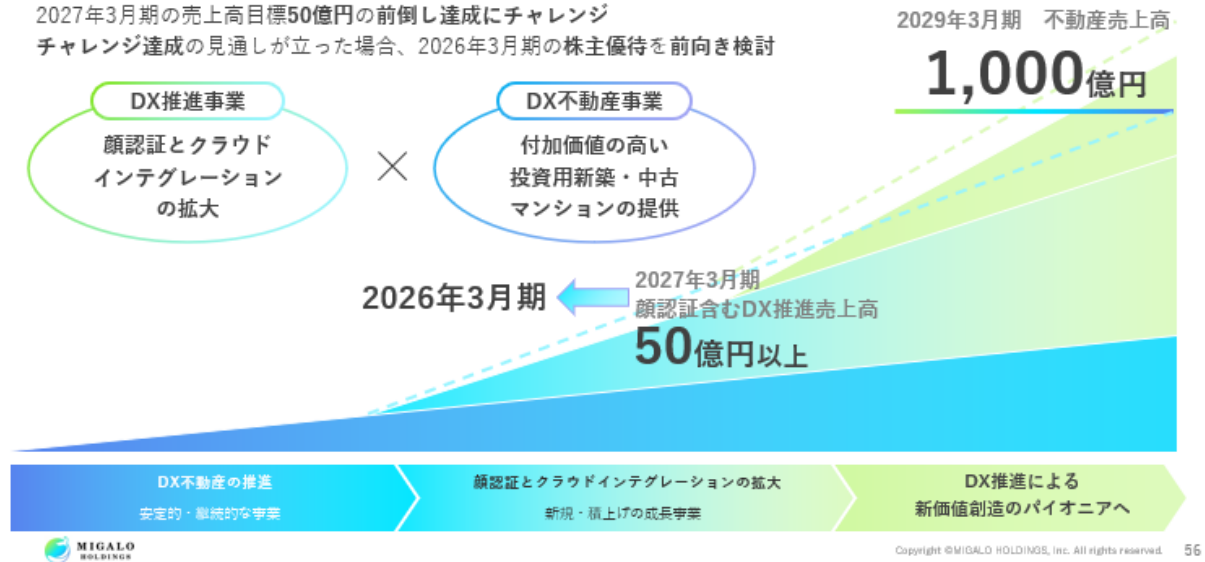
Q 2. 顔認証含むDX推進事業売上高の目標50億円の達成を2027年3月期から2026年3月期に前倒しできるようチャレンジするとありましたが、前倒しできる確度はどの程度あるのでしょうか。また、前倒しの見通しが立った時には株主優待の実施も検討するとありますが、2025年3月期と同等の優待施策になるのでしょうか。

A 2. 足許ではM&A案件の相談件数も増加傾向にあるため、成長機会となる案件を着実に実現していき、加えて、生産性向上に注力し、高い成長率を維持することで、DX推進事業の中期目標である売上高50億円の達成を前倒しできるようチャレンジしていきたいと考えています。また、売上高の前倒しの見通しが立った際には、株主の皆様への感謝の意を込めて、株主優待の実施も検討してまいります。

【中長期の成長目標】

— 中長期の成長目標

DX推進事業の2025年3月期着地想定35億円超を受けて、高い成長率維持を目指す
2027年3月期の売上高目標50億円の前倒し達成にチャレンジ
チャレンジ達成の見通しが立った場合、2026年3月期の株主優待を前向き検討



<ご参考>

- ・2025年3月期第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結) 2025年2月5日公表
- ・2025年3月期第3四半期 決算説明資料 2025年2月5日公表

以上

<免責事項>

- ・本資料は、企業説明・決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2025年2月5日公表の2025年3月期第3四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。